

女性のための特設電話相談
 毎週水曜日（第5週・祝日除く）に実施している女性のための電話相談を、3月第5週の水曜日にも行います。
 着信番号は表示されませんが、名前を伺うこともありません。もちろん秘密は固く守られます。安心して相談してください。
日時 3月29日(水)
 ●午前10時～正午
 ●午後1時～3時
相談専用ダイヤル：
 ☎469・7402
問合先 人権推進課
 ※相談無料。通話料は本人負担



女性の週間

問合先 人権推進課

3月1日～8日は「女性の健康週間」

女性は妊娠や出産をする可能性があるなど、生涯を通じて、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。しかし、日本の女性の検診率は低い状況にあり、女性特有の病気が若い世代に増えつつあることも心配されています。ぜひ、この週間を機に検診を受けるなど、自分の身体を大切にすることを考えてみてください。

また、本市では「第3次泉佐野市男女共同参画推進計画（人ひとプラン）」の中で、「生涯にわたる男女の健康支援」を基本課題の一つとしています。

男女が互いの身体的性差について、理解を深め、お互いを尊重し思いやりをもって生きていくことは、誰もがいきいきとした社会づくりにはとても大切なことです。

3月8日は「国際女性デー」

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは2022年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は146カ国中116位でした（2021年は156カ国中120位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況が反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言い難い状況です。

日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。

夜間中学で勉強しませんか（生徒募集）

いろいろな事情で小学校や中学校を卒業できなかった人、実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した15歳以上の人、いっしょに勉強しませんか。

- 入学の受付は4月28日(金)までです。（土・日曜日、祝日除く）
- ひらがなから勉強できます。
- 大阪府内に住んでいる人が入学できます。
- 外国籍の人も入学できます。
- 授業料は無料です。

問合先

- 堺市立殿馬場中学校（☎072-221-0755）
堺市堺区櫛屋町東3丁目2-1
- 岸和田市立岸城中学校（☎438-6553）
岸和田市野田町2丁目19-19
- 泉佐野市教育委員会 学校教育課（☎463-1212）
泉佐野市市場東1丁目1-1

犯罪被害者等見舞金

昨年12月、泉佐野市議会で犯罪被害者等支援条例が可決され、1月1日より施行されました。

犯罪被害を受けた市民やその遺族の被害の回復・軽減を目的に見舞金が支給されます。

【遺族見舞金】

犯罪などの被害により、お亡くなりになられた被害者の遺族…30万円（1事案につき）

【重傷病見舞金】

犯罪などの被害により、重い傷病の被害を負った被害者…10万円（1事案につき）

申請・問合先 人権推進課

※受給には申請が必要です。支給対象者の要件など詳しくは問い合わせてください。

各小・中学校の児童・生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年末に入賞者が決定し、各校に賞状が送られました。

そのなかの最優秀受賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

問合先 学校教育課

【読書感想文】

「障害」という言葉のない未来へ 第一小学校6年生 魚谷彩乃

私は、「わたしが障害者じゃなくなる日」という本を読みました。この本は、作者の海老原さん自身が脊髄性筋(せきずいせいきん)萎縮症(いしゅくしょう)という体の筋肉がおとろえていく病気をわずらっています。そんな海老原さんが今までの人生を元に「障害」ということを教えてくれる本です。

私は、この本を読んで「障害」についてや、今まで自分が思っていたこと、全てを考えさせられました。

突然ですがみなさんに問題です。外国人・お年寄り・目の悪い人・車いすの人・妊婦さんこの五人の中で障害者は誰でしょう。正解は、五人全員です。でも多くの方は、目の悪い人と車いすの人を選ぶと思います。私もその二人だと思いました。しかし、作者の海老原さんは、生活するときに困ったり、不便だったり、危険を感じたら障害者だといっています。私はこの考えにすごく納得しました。この考えを、一人一人が持っていれば、障害者への思い、態度が少しでも変わるんじゃないかと思います。実際にこの考えを知ってから私は、ネットで障害について調べようになりました。

そして、私が一番心に残ったことは、社会

が少しずつ変われば、みんなが少しずつ手伝え、障害は障害じゃなくなっていくということです。これを読んだ私は、前の問題とつながっていることに気づきました。それは、外国人やお年寄り、妊婦さんに対しては、外国語や道徳の授業でどう接するか習います。

そして、その人のことを知ることになります。私はそれが手伝うに入ると思います。なので、多くの方が障害じゃないと思っているんだと思います。しかし、目の悪い人や車いすの人などはあまり授業などでは習わず、理解されていません。なので私は、もっと障害について教えてもらえる場があってもいいんじゃないかと思います。その方が、障害者にとって生きやすい世の中になるんじゃないかと思います。

私は、何十年後かの未来で「障害」という言葉がなくなっているといいなと思いました。みんながより生きやすい世の中になってほしいです。でもそんな未来にするには、一人一人の理解が必要です。社会だけが変わっても、みんなが変わらないとそんな未来はこないのです。その未来を実現させるためにも、一人一人にもっと「障害」について知ってもらいたいなと思います。

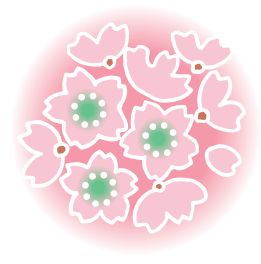
【標語】

みとめ合う みんなのこせいは たからもの

日根野小学校4年生 栗山 悠

思いやり あふれるところに 未来あり

第三中学校3年生 栢花智大



小・中学校人権作品 人権について考えよう

【詩】

「わたしの水平社宣言」

長南中学校 2年生 岩森 理

なぜ同じ人間を差別する

ちがいがあがる人間を差別しているのなら

それは個性を理解していないことと同じだ

差別は同じ人間、同じ仲間を

いじめていることと同じだ

差別は自分で自分を

いじめていることと同じだ

なぜ同じ人間を差別する

差別を受けている人に言いたい

「あなたは何も悪くない」

なぜ同じ人間を差別する

この世の中に

差別されていい人なんていないのだ

この世の中に

差別はあつてはならないのだ

だから差別をなくすのだ

なぜ同じ人間を差別する

「それはまちがってる」と差別をとめよう

話し合つて理解を広げよう

そして、差別をなくす仲間を増やそう

行動を起こそう

なぜ同じ人間を差別する

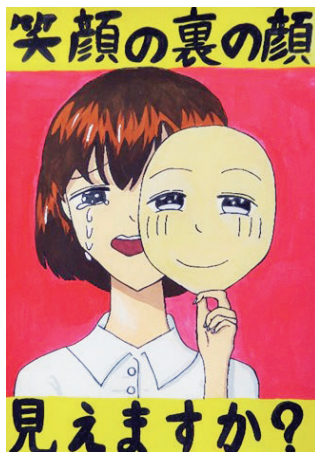
人間は尊敬し合うもの

だから差別をなくすのだ

▶日根野中学校3年生
原山 莉彩



▶長南中学校2年生
宮路 颯愛



【ポスター】

▶佐野台小学校5年生
小野 舞華



▶北中小学校4年生
新原 陽菜乃

